

＜＜進路指導における 3 本柱「聴く」「説く」「挑む」の基本理念＞＞

	1 学年(自分を知る)	2 学年(可能性を探る)	3 学年(自己実現を図る)
「聴く」 Input	＜共通テーマ＞ 進路選択の基盤となる情報の収集と情報の徹底的な活用(視野を広げる) テーマ「学習観・職業観の深化、次年度のコース選択に向けた情報収集、自己分析「これからの自分」を考える」 ○徹底的な「自己理解」を通じ、学ぶことや働くことの意義について考えさせる。普段の学びの先に進路実現があることを意識させ、選択するコースでの学びが今後の自分にどう影響するのか考えさせる。1 年の最後には、今後の方向性(計画)を自ら示せる生徒を育成する。		
「説く」 Output	＜共通テーマ＞ 将来の自分をイメージし、「やりたいこと」について語ることができる生徒の育成 テーマ「選択するコースで何を学ぶか？学びをどう進路に繋げるか？を考える」 ○「何のために××コースで学ぶのか？」「何を将来的にやっていきたいのか？」根拠を明確に説明できるような生徒の育成に努める。生徒一人ひとりが自信を持って「将来～になりたいから、このコースで〇〇を学ぶ」と言えるようサポートしていく。	テーマ「進学・就職に向けた進路探究 Basic」 ○進学・就職希望を問わず、在籍するコースや関心のある分野に関連する進路先について調査学習を実施。複数(2～3つ)研究し、比較・検討することで得られる気付き等についてまとめる。3 年次の進路選択へスムーズに移行できるよう、基盤となる情報の収集と活用のあり方について、年間を通じて指導していく。	テーマ「進学・就職に向けた進路探究 Advanced」 ○2 年次までの取り組みを踏まえ、最終的に受験する学校や企業について徹底的に調査させる。また、収集した情報を進路実現に向けて徹底的に活用させていく。これを踏まえて、面接や志望動機などの準備も進めさせる。『進路の手引』へ日頃の取り組みを記録として残し、進路決定後の振り返り時に自己の成長が確認できるようにする。
「挑む」 Action	＜共通テーマ＞ 志高く、さらなる高みへ ～今の自分から、一歩先の「新たな自分」へ～ テーマ「可能性の開拓～基礎力の底上げを図る～」 ○基礎学力の習得とそれを活用し主体的に課題解決に取り組もうとする姿勢を身につけさせる。ベネッセの基礎力診断テスト、Literas 等を活用し、生徒一人ひとりの力を客観的に把握させる。これにより、進路実現に必要な基礎力の向上を図り、進学・就職希望を問わず生徒の希望する進路先の可能性の幅を広げていく。		
	テーマ「オープンキャンパス、説明会・見学会、インターンシップへの積極的な参加」 ○「今の自分から一歩踏み出し、視野を広げる」ことが狙いとなる。これらに参加することで得られる気付きや学びを、3 年次の進路選択へ繋げていく。自己のさらなる可能性や成長の余地を発見させ、3 年 0 学期に備えていく。「自分ごと」として今後具体的なイメージを持たせる。	★テーマ「自らの力で未来を切り拓く」 ○中長期的な視点から進路決定までの流れを逆算させ、「いつ・何を・どのように・どれくらいのレベルまで？」を徹底的に考えさせる。生徒全員が自らの戦略を立て、受験までの流れを理解し、余裕を持って試験に臨めるよう、きめ細やかな指導を展開する。3 年代表生徒による下級生を対象とした「進路体験報告会」を実施し、総括とする。	

